

クリスマスの本だな

平成29年12月 NO. 29

北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451

☆ いちばんちいさなクリスマスプレゼント ☆

Eレ ピーター・レイノルズ // 文・絵 なかがわ ちひろ // 訳 主婦の友社



ことしのプレゼントはなんだろう？わくわくしていたローランド、クリスマスの朝プレゼントをみにいってがっかり。いままでで一番小さかったのです。

「こんなちっぽけなプレゼントなんて、ぜったいいやだ！」ローランドはねがいました。「どうかおおきなプレゼントにかえてください。」ぎゅっととじていた目をあけると…ほら！ねがいがなかった！でも…。

☆クリスマスの魔法でどんなおおきなプレゼントになったのでしょうね…。
by リリー

☆ おおきいサンタとちいさいサンタ ☆

Eタ 谷口 智則 // 作・絵 文渓堂

ある丘の上に、おおきいサンタとちいさいサンタがすんでいました。2人は話をしたことがありませんでした。あるクリスマスの日、プレゼントを配り終え、家に帰ると、2人の家に1通ずつ手紙が届いていました。

その手紙によって、2人は初めて話をするようになります。手紙には何が書かれていたのでしょうか？

この2人のサンタは、『100にんのサンタクロース』という絵本にも登場します。ぜひ一緒に読んでみてください。楽しさ2倍ですよ。



by クロエ

☆ クリスマスのちいさなおくりもの ☆

Eクリ アリソン・アトリー // 作 上條 由美子 // 訳

山内 ふじ江 // 絵 福音館書店



クリスマスイブ。人間の家ではクリスマスの準備がすんでいません。心配したねずみたちは「ねこさん、あんたがなんとかしてくださいよ」と猫にいいました。

特別な日に、猫とねずみたちがせっせと準備をはじめます。ケーキを焼いたり、モミの木を飾りつけたりと…サンタクロースが来るまでに奔走する動物たちはたいへん愛らしいです。温かみのある絵とおはなしなので、冬の夜におススメの1冊です。 by Mo_7



☆ クリスマスわくわくサンタの日 ☆

Eタ ますだ ゆうこ // 作 たちもと みちこ // 絵 文彦堂

クリスマスっていうと、わくわく楽しくなりませんか？
サンタに毎日手紙を書いている、女の子レミもその1人。でも、レミはね、サンタになりたいんだって。女のサンタっているのかな？
サンタのお手伝いをしている妖精トントウのベルがやってきました。その日から、一緒にクリスマスの準備を始めたのです。
クリスマスの豆知識ものっていて楽しい絵本。さあ、レミの書いた手紙は、サンタさんは、読んでくれたかな？ by プリン



☆ くるみわり人形 ☆

Eクリ 石津 ちひろ // 文 堀川 理万子 // 絵
E.T.A. ホフマン // 原作 講談社



クリスマスの魔法、「くるみ割り人形」。みんながそっぽをむくようなへんてこりんな人形のくるみ割り人形。しかし、ある女の子はこの人形を気に入り、大切にしました。
すると、不思議な世界に連れていかれ…。しあわせを感じるできごとがおこります。

クリスマスのストーリー。物を大切にみつかることの大事さ、やさしさをこの絵本をよんでみると考えさせられます。

by きらきら

☆ Father Christmas ☆

EB レイモンド・ブリッグス // 作・絵 福音館書店

☆ さむがりやのサンタ (日本語訳版) ☆

Eサム すがはら ひろくに // 訳 福音館書店

常夏のビーチで日光浴をしている夢をみていたサンタさん、めざまし時計に起こされます。「やれやれ、またクリスマスか！」おいしい紅茶をいれて、ラジオで天気予報をチェック。「なんてこったい、いやな雪だよ、まったく！」「はやく夏にならんかねえ」なんてブツブツ言いながら、トナカイのそりにのってクリスマスイブの街へ…。このあとは、ぜひごらんになってください。

英語がわからなくても、絵をみているだけでストーリーはわかります。
原作(英語)と日本語版、両方読みくらべてみても楽しいですよ。 by 雲



☆ サンタクロースのしろいねこ ☆

Eサン スー・ステイントン // 文 アン・モーティマー // 絵
まえざわ あきえ // 訳 徳間書店



世界でいちばん北にあるサンタクロースの家には、雪のようにまっしろなねこ“スノウ”がいます。クリスマスイブの夜、スノウはサンタさんのポケットに入り、こっそりサンタさんに付いて行きます。そしてソリの上から下の夜景に見とれていると、なんとソリから落ちてしまったのです。迷子になったスノウ。再びサンタさんと会うことができるのでしょうか…。

★まっしろな毛にふかみどりいろの目をした、ふわっふわのスノウがとても美しく描かれています。 by オレンジ





☆ そらとぶそりとねこのタビー ☆

Eソ C・ロジャー・メイダー // 作・絵 齋藤 絵里子 // 訳 徳間書店



ねこのタビーが、大好きなおばあさんのふわふわスリッパに抱きついて眠っていると、知らない人の足音が聞こえ目を覚ました。足音のほうへ近づいたタビーは、ふわふわブーツのおじさんにあいました。ふわふわブーツのおじさんはいったいだれ？

by チッピー

☆ ピーターラビットクリスマスのおはなし ☆

Eテ エマ・トンプソン // 文 エレノア・テイラー // 絵 三辺 律子 // 訳 集英社

もうすぐクリスマスです。ピーターはわくわくして、どうにも落ち着きません。3回もミンスパイのなかみを床に落としてしまいました。そんなピーターに、お母さんはおつかいを言いつけます。とちゅう森の中で、いとこのベンジャミンと尾羽が自慢の友だちウィリアムと出会います。ウィリアムは、目立ちたがりのうぬぼれや。そこでウィリアムからおそろしいはなしを聞いたピーターとベンジャミン。一体どうするのでしょうか。

☆さあクリスマスの素適なおはなしのはじまりです。 by ドラ



☆ メリークリスマス おさるのジョージ ☆

Eメリ キャシー・ハプカ // 文 メアリー・オキーフ・ヤング // 絵 福田 友美子 // 訳 岩波書店



12月と言うとクリスマス。幼い頃は、楽しい1日でしたね。今では皆様にとって、どの様な1日でしょうか？

ジョージは、きいろいぼうしのおじさんと一緒にクリスマスツリーを購入しに行ったずだったのですが…はたして、ジョージはどの様になってしまうのでしょうか？

私は、この児童書を読んでみて、皆様方も読みたくなる本だと思いました。子供達が、面白可笑しく楽しんで聞ける児童書です。ぜひ、聞かせてみてはいかがでしょうか？

by モンチッチ

☆ ペンギンハウスのメリークリスマス ☆

913サ 齋藤 洋 // 作 伊東 寛 // 絵 講談社

ある町に、『ペンギンハウス』というレストランがあります。カウンターに6人しか座れない、小さなレストランです。おじさんが、ひとりでやっています。毎年12月、カウンターのいちばん奥に、ペンギンのおきものがおかれます。クリスマスツリーではなく、ペンギンです…。ペンギンがおかれたせきは、『サンタクロースのせき』とよばれています。これは、ペンギンハウスの主人が、とったも若かったころのお話です。

by みーやん



☆ クリスマスがちかづく ☆

913 サ 齊藤 倫 // 作 くりはら たかし // 画 福音館書店

セロは10才の男の子。クリスマスが大嫌い。なぜかって？ それは、クリスマスがちかづくとおとうさんは留守になり、おかあさんはお仕事でいないから。

ある日、おかあさんに冬になるとどうしておとうさんは家に帰ってこなくなるのかききました。すると…。なんと、おとうさんはサンタクロースだったのです！

セロは、おとうさんは、どうしたのでしょうか。親子の愛情あふれるおはなしです。
by BUN



☆ クリスマスの猫 ☆

933 ウエ R・ウェストール // 作 坂崎 麻子 // 訳 徳間書店



気が進まないままクリスマスを牧師のサイモンおじさんと過ごすことになった私。陰気で閉鎖的な牧師館だったけど、そこで出会った男の子ボビーと心を通わせ、不穏な大人たちを尻目に秘密の作戦を企てたの。え、どんな作戦かって？ ヒントは、ガリガリに痩せた一匹の猫ちゃん。私とボビーの間には階級の差があったけど、貧しくても聡明なボビーに私は徐々に惹かれていったわ。そしてクリスマス・イヴ、その作戦は結局サイモンおじさんにも素晴らしいプレゼントをもたらすことになったの。

厳しいイギリスの現実世界を背景に、子供たちの生き生きとした感性が大人たちの心を氷解させます。ディケンズの名作「クリスマス・キャロル」に匹敵するといわれる本物のクリスマス物語を体験してみてください。
by コマサンタ

☆ クリスマス人形のねがい ☆

933 ゴ ルーマー・ゴッデン // 文 バーバラ・クーニー // 絵 掛川 恭子 // 訳 岩波書店

これは、ねがいごとのお話です。小さなおんなの子とお人形の…。
クリスマスイブの朝、お人形のホリーはお店で、自分を買っていってくれるおんなの子を待っていました。でも、とうとう、夜になってお店が閉まる時間になっても、だれも買ってはくれませんでした。そして、いっばう、迷子になったおんなの子の名前はアイビー。本当はクリスマスの夜、別の施設で過ごすことになっていたのですが、想像の中のおばあちゃんの家をさがして、この町に来てしまったのです。そして、二人のねがいごとは…。★ルーマー・ゴッデンさんのすてきなお話にバーバラ・クーニーさんの絵で描かれたすてきな本です。この本を読んだ人は、二人からのプレゼントを受け取ることができるでしょう。
by ビクトリア



☆ サンタクロース公式ブック ～ クリスマスの正しい過ごし方 ～ ☆

一般書 386 パ パラダイス山元 // 著・監修 小学館



クリスマスのカウントダウンが始まる12月1日は、家族総出でツリーの飾り付けをし、最後に一家の大黒柱が、一番上で輝いている大きな星のオーナメントを取り付けるというのが正式なクリスマスツリーの飾り方なんだそうです。ご存知なかった方も多いのではないのでしょうか？『公認サンタクロース』が書いたこちらの本では、クリスマスの過ごし方を山元さんがアドバイスしてくれます。毎年、パーティプレゼントやディナーの準備で大忙しのお父さんやお母さんには是非、読んでいただきたいですナ～（サンタの声）
by 奏